



九州工業大学情報工学部では、
最先端の研究者の話を気軽にきける機会として
『サイエンス・カフェ』を始めることになりました。

一般の方々が、科学者と、お茶やコーヒーを飲
みながら、気軽に科学について語り合うことで、
コミュニケーションをとる試みです。

1998年前後にイギリス、フランスではじまり、
その後ヨーロッパを中心にアメリカ、カナダ、
インド、オーストラリアなど世界各地に拡がり、
日本では2004年に京都で始められたのが
最初といわれています。

講演会やセミナーなどとは異なり、一般の
方々の輪の中に科学者が加わり、科学の話題を
提供しながら、参加者みんなで考えることを
とおして、科学への関心と理解を深めようと
いうものです。科学を身近に楽しめるイベントと
して注目されています。

第1回 サイエンス・カフェ @九工大情報工学部

●日時：2011年 **3月11日(金)**
18:00~19:30

参加費用
無料
コーヒー
お菓子つき

どなたでも参加いただけます。
学校、お仕事、買い物帰りなど、
お気軽にお越しください。

●場 所

九州工業大学・飯塚キャンパス内「オアシス」
飯塚市川津 680-4

●テーマ

『バイオミクリー：生物機能をどうまねる？』

●ゲスト

とうじょう かくじ

東條 角治 氏 (九州工業大学情報工学部 教授)

●申込み

必要(当日も可)

●申込み・お問い合わせ先 情報工学部 広報室

電 話：0948-29-7509 (平日10:00~17:00)

メー ル：sciencecafe@pr.iizuka.kyutech.ac.jp



ゲスト紹介

とうじょう かくじ

東條 角治 氏

九州工業大学大学院情報工学府
眼科治療システム寄附講座 教授

貼り薬などのドラッグデリバリーの第一人者で
す。病気になった時、私たちは薬を飲みます
が、決められた量を飲まないと、治療効果が
現れなかったり、身体に害(副作用)が出て
しまいます。また植物や作物を守るために散布
する農薬は、その大部分が環境(大気、水、
そして地中)だけでなく農薬散布者の体内に
留まり、環境汚染や副作用の原因となります。
このような問題を解決するためには、必要な
量の薬物や農薬を、必要な時に、必要な場所
へ送達することが望ましいのです。これが安
全で効果的な薬物送達システム(DDS: Drug
Delivery System)です。そのようなシステム
に関する研究に長年取り組まれています。